



# 美しい 県土づくりNEWS

2021年  
3月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌 祝第 200 号！  
令和3年3月31日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 東日本大震災津波から 10 年  
宮古盛岡横断道路が全線開通！
- 4 令和2年度優良建設関連業務表彰式
- 5 優良工事 21 件を表彰  
～優良県営工事表彰・優良下請負企業表彰～
- 7 「建設業新分野進出等表彰式」を開催！
- 8 岩手県の除雪の取組を紹介します！  
～日常生活を支える安全な道づくりの推進～
- 10 東日本大震災津波からの復興に向けて  
～令和2年度 県土整備部の取組状況～
- 13 岩手県自転車活用推進計画を策定しました！！
- 15 (特集)美しい県土づくり NEWS 創刊 200 号！

# 三陸復興

## 東日本大震災津波から 10 年 宮古盛岡横断道路が全線開通！

令和3年3月28日（日）、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている宮古盛岡横断道路が全線開通しました。

全線開通後は、宮古盛岡間の所要時間が震災前と比較して約 30 分も短縮されます。これにより、路線全体として安全性や速達性、定時性が大きく向上し、沿岸と内陸の更なる交流連携の促進、迅速かつ安定した救急搬送、広域観光や物流の活性化など多くの効果が期待されます。



テープカット・くす玉開披 (写真提供：三陸国道事務所)

# 東日本大震災津波から10年 宮古盛岡横断道路 全線開通！

## 道路建設課

令和3年3月28日（日）、宮古市にて、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている宮古盛岡横断道路のうち、「**碓目～腹帯、川井～箱石、平津戸・岩井～松草**」の開通式が国、県、宮古市の共催で開催されました。※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、規模を縮小して開催されました。

式典には、大西 国土交通副大臣、吉川 復興大臣政務官、達増 知事、山本 宮古市長、谷藤 盛岡市長、県選出国會議員、県議會議員などの関係者が出席しました。

大西 国土交通副大臣、達増 知事、山本 宮古市長による挨拶、吉川 復興大臣政務官、県選出国會議員の方々から祝辞、谷藤 盛岡市長からお礼の言葉が発表されました。

その後、テープカット及びくす玉開披、通り初めが行われました。

※写真は三陸国道事務所提供（通り初めを除く）



挨拶 大西 国土交通副大臣



挨拶 達増 知事



挨拶 山本 宮古市長



祝辞 吉川 復興大臣政務官



お礼の言葉 谷藤 盛岡市長



合唱 みやこ市民劇ファクトリー



テープカット及びくす玉開披



通り初め

宮古盛岡横断道路は東日本大震災津波から 10 年の節目の年に全線開通を迎えました。全線開通後は宮古盛岡間の所要時間が震災前と比較して約 30 分も短縮されます。これにより、路線全体として安全性や速達性、定時性が大きく向上し、沿岸と内陸の更なる交流連携の促進、迅速かつ安定した救急搬送、広域観光や物流の活性化など多くの効果が期待されます。

# E45 三陸沿岸道路「侍浜IC～洋野種市IC」が3月20日に開通!

～久慈市から青森県八戸市までが自動車専用道路で繋がる～

令和3年3月20日(土)、洋野町にて、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている三陸沿岸道路のうち、「侍浜IC～洋野種市IC」の開通式が国、県、久慈市、洋野町の共催で開催されました。 ※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、規模を縮小して開催されました。

式典には、朝日 国土交通大臣政務官、達増 知事、遠藤 久慈市長、水上 洋野町長、県選出国會議員、県議会議員などの関係者が出席し、主催者代表挨拶や祝辞、お礼の言葉、テープカット、くす玉開披、通り初めのセレモニーが行われ、開通を祝いました。



挨拶 朝日 国土交通大臣政務官



テープカット及びくす玉開披  
(写真提供：三陸国道事務所)



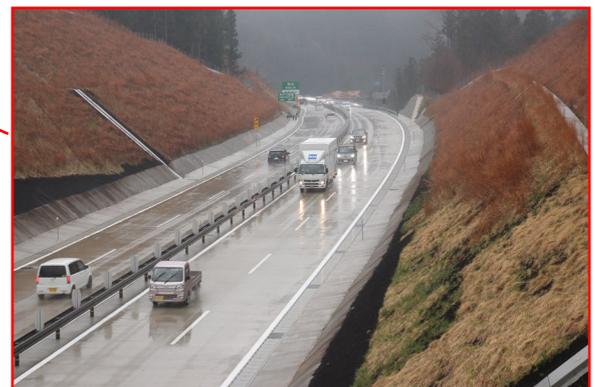
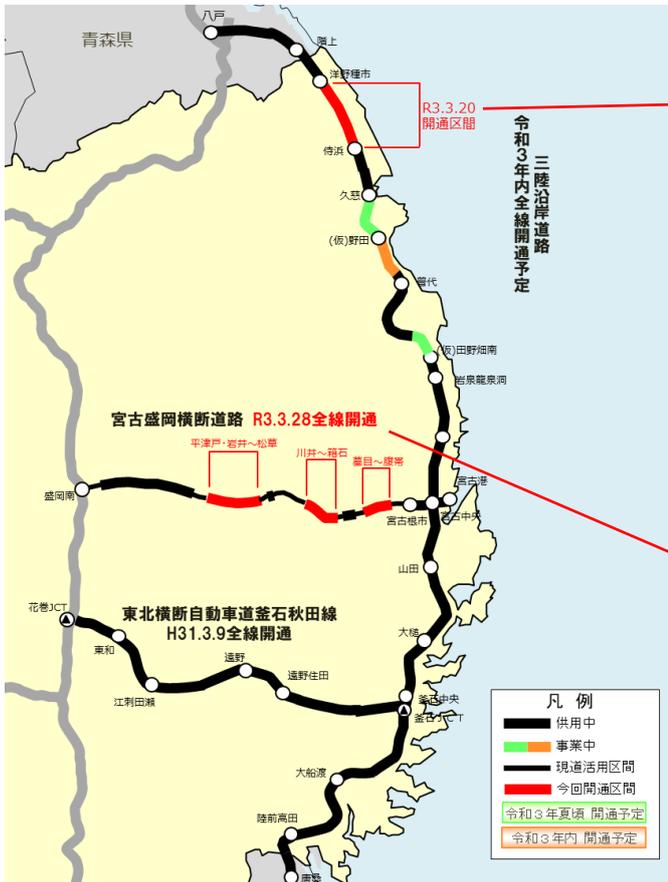
通り初め

今回の開通により、久慈市から青森県八戸市までが自動車専用道路で繋がり、県境を越えた交流促進、水産業等の地域産業の活性化、洋野町から県立久慈病院への救急搬送時間の短縮などが期待されます。

また、三陸沿岸道路は令和3年内に全線開通する見通しとなっており、道路のストック効果が広く全県に波及することが期待されます。

県では、引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路の1日でも早い全線開通に向け全力で取り組んでいきます。

県内の復興道路・復興支援道路は東和～花巻間を除き無料で通行できますので、ぜひご利用ください。



開通後の状況 (写真提供：三陸国道事務所)

# 令和2年度優良建設関連業務表彰

## 建設技術振興課

令和3年2月3日、プラザおでつにて令和2年度岩手県県土整備部優良建設関連業務表彰式を行い、中平県土整備部長から表彰状が授与されました。

この表彰制度は、県土整備部、広域振興局土木部が発注した建設関連業務のうち、業務成績が優秀で、他の模範となる業務を履行した受注者及び管理技術者等を表彰することにより、建設関連業務の技術の向上による公共工事の品質の確保を図ることを目的として、平成27年度に創設したもので、今回の表彰が第6回目となります。

今回の表彰では、令和元年度に完了した建設関連業務のうち、委託業務成績評定要領に基づき成績評定を行った業務(県内に本店又は営業所を有する受注者に限る。)から、県土整備部優良建設関連業務表彰委員会における審議を経て、**優良建設関連業務 24 件 19 者、優良技術者 24 名** が被表彰者として選定されました。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催し、受賞者の優れた業績を称えました。

### 【令和2年度優良建設関連業務・優良技術者表彰一覧】

優良建設関連業務表彰受注者	優良技術者表彰	表彰業務名
【 測量 】 (3件)		
1 (株) 森蔭測量設計	佐々木泰次	一級河川黄海川筋黄海地区地形測量業務委託
2 (株) タックエンジニアリング	佐々木聖	二級河川盛川ほか河川台帳整備業務委託
3 (株) 土木技研	松原和則	根浜海岸地形モニタリング調査(その1)業務委託
【 建築関係建設コンサルタント 】 (3件)		
1 (株) 武田設計	石川弘司	県営運動公園スポーツライミングボルダリング施設新築等工事監理業務
2 (株) 高橋建築設計事務所	照井善信	築川ダム管理所(建物)工事監理業務
3 (株) 渡辺設計事務所	渡辺俊彦	岩手県立福岡工業高等学校校舎ほか解体工事監理業務
【 土木関係建設コンサルタント 】 (13件)		
1 国際航業(株)	山田大介	土砂災害防止法基礎調査(その5)業務委託
2 (株) 一測設計	藤原勝広	土砂災害防止法基礎調査業務委託
3 (株) 吉田測量設計	吉田大将	一般県道野田長内線広内地区道路整備検討業務委託
4 (株) 三協技術	菊池俊彦	岩泉土木センター管内災害復旧関連事業工事監督支援その3業務委託
5 基礎地盤コンサルタンツ(株)	植田健太	二級河川閉伊川ほか洪水浸水想定区域図作成業務
6 (株) 復建技術コンサルタント	佐藤利英	高田松原津波復興祈念公園盛土道路等調査観測設計業務委託
7 (株) 土木技研	北川久徳	一般国道281号案内〜戸呂町口地区ほか道路整備方針検討業務委託
8 (株) 福山コンサルタント	大塚宣昭	一般国道106号富古西道路田線〜根市地区道路環境調査(その4)業務委託
9 日本工営(株)	稲村真一	米田地区海岸環境保全対策モニタリング調査(その5)業務委託
10 大日本コンサルタント(株)	池田大樹	二級河川気仙川筋昭和橋橋梁詳細設計業務委託
11 (株) 東開技術	及川清一	県北広域振興局土木部管内道路建設事業発注者支援業務委託
12 (株) 昭和土木設計	松村香道	主要地方道花巻大曲線川舟の2地区落石対策測量設計業務委託
13 (株) 総合土木コンサルタンツ	佐藤欣弥	主要地方道一関北上線ほか梅木地区ほか災害復旧測量調査設計業務委託
【 地質調査 】 (1件)		
1 (株) 昭和土木設計	菅原弘	一般国道284号石法華地区水文調査業務委託
【 補償関係コンサルタント 】 (4件)		
1 (株) スズマ測量設計	下川原章勝	二級河川気仙川筋川向(昭和橋)地区用地測量調査業務委託
2 (株) 東開技術	羽田英人	土石流危険渓流岩突張沢岩シバリ1号砂防堰堤改築工事用地測量調査業務委託
3 (株) 吉田測量設計	芳門福男	二級河川小本川筋小本地区河川激甚災害特別緊急事業用地測量調査等業務委託
4 (株) 土木技研	内田和男	二級河川小本川筋宮本地区河川激甚災害対策特別緊急事業用地・調査・用地補償総合技術業務委託



▲記念撮影(優良建設関連業務・技術者)



▲受賞者代表謝辞



▲表彰状授与

# 優良工事 21 件を表彰

～ 優良県営建設工事表彰 ・ 優良下請負企業表彰 ～

建設技術振興課

令和3年2月3日、プラザおでつにおいて、令和2年度優良県営建設工事表彰及び優良下請負企業表彰を行い、菊池副知事から表彰状と記念品が授与されました。

優良県営建設工事表彰は、建設業の健全な発展とその施工技術の向上に資することを目的として、昭和57年度から実施しているもので、今年度で39回目となります。

今回は、令和元年度に完成した、請負額1,000万円以上で、かつ工事成績評点85点以上の県営建設工事を対象とし、優良県営建設工事表彰審査会（庁内委員と外部有識者で構成）において審査され、「総合的に工事成績が良好で他の模範となる県営建設工事」と認められた21工事20者が受賞企業として選定されました。

優良下請負企業表彰は、県内建設業者の施工技術の向上による公共工事の品質確保及び健全な元請下請関係の構築を目的として平成21年度から実施しているもので、今回で12回目となります。審査対象は、優良県営建設工事表彰の対象工事を施工し、今年度の受賞企業として内定した元請負企業から推薦のあった下請負企業です。優良県営建設工事表彰審査会における審査を経て、12工事14者が受賞企業として選定されました。

表彰式には、受賞企業の代表者のほか、工事発注公所等の担当者も出席し、受賞企業の優れた業績を称えました。

## 【受賞工事・企業一覧】

部門	表彰工事	請負業者	優良下請負企業
土木	二級河川小本川筋袋綿地区ほか 河川災害復旧助成（護岸工）工事	(株)板宮建設	—
土木	農地海岸保全施設災害復旧事業 本郷地区第3号工事	(株)小田島組	—
土木	一般国道396号達曾部地区道路改良舗装 （登坂車線設置その2）工事	(株)かばら	—
土木	高田松原津波復興祈念公園造成工事	(株)佐武建設	(株)海航
土木	経営体育成基盤整備事業 太田・下巾地区第4号工事	(株)佐藤組	(有)菅重建設
			(株)和賀開発
土木	南沢地区治山激甚災害対策特別緊急工事	(有)澤里土木工業	—
土木	経営体育成基盤整備事業 梁川西部地区第3号工事	進栄建設(株)	丸上建設(株)
土木	農用地災害復旧関連区画整理事業 山田地区（豊間根工区）第8号工事	成和建設(株)	(株)かばら
土木	一般国道281号葛巻地区流雪溝補修工事	高橋重機(株)	(株)ビルド遠藤
土木	吉里吉里漁港海岸災害復旧（23災県第555号 防潮堤その6）工事	(株)タカヤ	(株)栄開発
土木	一級河川和賀川筋若畑地区河川改修工事	(株)田中建設	—
土木	農地整備事業（経営体育成型）鳥海地区 第7号工事	(株)丹野組	(有)扇田産業

部門	表彰工事	請負業者	優良下請負企業
土木	一般県道野田長内線小袖～大尻地区 道路改良(その7)工事	畑田建設工業(株)	(有)中島塗装工業 所
舗装	一般県道平泉停車場中尊寺線 志羅山地区(4工区)舗装工事	朝田建設(株)	—
舗装	一般国道282号竜ヶ森地区ほか舗装補修工事	岩手建工(株)	東北埼京(株) 岩手二子レキ(株)
舗装	岩手県立高田高等学校第一グラウンド(本設) 災害復旧工事	(株)小田島組	—
鋼橋 上部	一般国道343号松長根橋(その2) 橋梁補強工事	(株)大久保建設	岩手二子レキ(株) 佐々総業(株)
電気 設備	宮古港海岸鍬ヶ崎地区ほか陸開電気設備工事	北日本通信(株)	—
電気 設備	一般県道花巻和賀線鍛冶町地区 無散水消雪設備更新工事	種市電工(株)	(有)網代建設
法面 処理	槻本地区急傾斜地崩壊対策(法面工)工事	(株)平野組	—
建築	県営境田アパート(2・3号棟)浴室等改修 (建築・電気設備)工事	(株)遠忠	(株)齋藤工務店



▲知事式辞(菊池副知事代読)



▲表彰状授与



記念撮影(優良工事)



▲記念撮影(優良下請負企業)

# 「建設業新分野進出等表彰式」を開催！

建設技術振興課

令和3年2月3日、プラザおでっにおいて、令和2年度建設業新分野進出等表彰式を開催しました。表彰式では、**優秀賞1者**を表彰し、菊池副知事から表彰状と記念品の伝達を行いました。

本表彰式は、県内建設企業の経営体質の強化への取組意欲を喚起し、構造改革の推進を図ることを目的として、平成17年度から実施しており、**今回で16回目**となります。

## 【受賞企業】

優秀賞（1者）

分野	企業名	所在地	事業内容
サービス関連（小売・飲食・サービス等）	（株）長谷川建設	陸前高田市	地域住民が集う図書館とカフェ（PECHKA Cafe&Library）の運営事業

## 【表彰事業紹介】



① コーヒー・軽食の提供



② 図書館（まちライブラリー）の運営



▲表彰状授与



▲記念撮影

# 岩手県の除雪の取組を紹介します！

～日常生活を支える安全な道づくりの推進～

道路環境課

## 1 令和2年度の岩手県の状況

### (1) 岩手県全体の概要

県では、冬期通行止め区間を除く全ての県管理道路で除雪を行っています。

令和2年度は、41の共同企業体、115の企業に除雪業務を委託することなどにより、約3,860km、253路線の除雪を実施しています。

今冬は昨年12月中旬からの大雪等により、県内各地で平年を上回る降雪が確認されており、3月中旬時点で、県内の主要な観測地点の累加降雪量(降雪量を積み上げた数値)の平均は、約3mを超えています。

### (2) 大雪による交通障害

今年度の大雪では、雪にタイヤがはまって立ち往生してしまう「スタック」状態となる車両も発生しました。北上市から西和賀町の一般国道107号では、令和2年12月16日に約20kmにわたり約8時間の通行止が発生するなどの交通障害も発生しました。



▲R2.12.16の一般国道107号の通行止位置図



▲立ち往生した車両(写真左奥)を追い越せないトラック



▲通行止による渋滞の様子

## 2 除雪オペレーターの尽力

今冬は12月中旬からの度重なる降雪により、各地域の除雪オペレーターは、連日にわたり、昼夜を問わず除雪作業を実施することもありました。夜間作業等でなかなか人目に付きませんが、除雪オペレーターの皆様には、道路利用者の安全な通行を確保するため日々尽力していただいています！



### ■夜間・夜明けの除雪

早朝や夕方の通勤、通学の時間を避けるためオペレーターは夜間・夜明けに除雪しています。



### ■路面凍結を防止するため薬剤散布

交通量が多い幹線道路や、橋梁・日影等の凍結しやすい箇所を重点的に散布しています。



### ■歩道の除雪

歩道や横断歩道部分などを中心に除雪し、狭い箇所では人力で除雪することもあります。



### ■スムーズな通行の確保

溜まった雪ですれ違いが困難な場合などには、運搬排雪を行います。

## 3 春先の交通確保(県道23号(通称アスピーテライン))について

八幡平市の県道23号(通称アスピーテライン)では、今年度も美しい「雪の回廊」づくりが始まっています！年々観光客も増加しており、例年どおりの開通に間に合うよう、安全・着実に作業を進めていきます！



【問い合わせ先】岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話：019-629-5880 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0004@pref.iwate.jp

# 東日本大震災津波からの復興に向けて ～令和2年度 県土整備部の取組状況～

県土整備企画室

令和3年3月11日で東日本大震災津波の発災から10年が経過しました。  
県土整備部は、被災地の一日も早い復興に向けて、インフラの復旧や整備等に取り組んでいます。

今号では、東日本大震災津波からの復興に向けた令和2年度の主な取組をご紹介します。

## 主な復旧・復興事業の進捗状況（令和3年3月末見込み）

復興まちづくり（面整備）	7,472区画 <b>全ての宅地整備が完了。</b>
復興道路等	事業化延長359kmのうち、 <b>328km（約91%）が開通。</b>
津波防災施設 （県土整備部所管分）	65地区のうち、 <b>59地区（約91%）が完了見込み。</b>
災害公営住宅 （沿岸部・内陸部）	5,833戸 <b>全ての整備が完了。</b>

## 各分野の取組状況

### 復興まちづくり ～復興まちづくり（面整備）は全てが完成～

岩手県は、復興まちづくりの基本的な考え方として、多重防災型まちづくりを目指しています。これは、被害状況や地理的条件、歴史や文化、産業構造などに応じて、その地域に合致した「津波防災施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を適切に組み合わせ、被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより「安全の確保」を図るものです。

**今年度までに、計画7,472区画の全ての宅地が完成しました。**

- 防災集団移転促進事業：88団地、2,090区画
- ※漁業集落防災機能強化事業：41地区、471区画
- 土地区画整理事業：19地区、4,911区画
- 津波復興拠点整備事業：10地区



▲防災集団移転促進事業「大槌町赤浜地区」  
(平成31年4月撮影)



▲津波復興拠点整備事業「釜石市東部地区」  
(令和2年3月撮影)

## 復興道路等の整備

### ～高規格幹線道路の整備が進み、利便性向上や産業振興に寄与～

国が施行する**復興道路**（三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路）については、**令和2年度に78km※が開通**しました。（※県内開通延長）

**三陸沿岸道路**（県内）は、**野田久慈道路**（普代～久慈）、**田野畑道路**（田野畑南～尾肝要）以外の区間が開通し、**令和3年内の全線開通を予定**しています。また、**宮古盛岡横断道路**は、今年度末までに事業化している区間が**全線開通**し、これらの効果が全県に広がることが期待されています。

復興道路を補完する道路として県が施行する、**復興支援道路**や**復興関連道路**については、国道340号押角峠工区（岩泉町、宮古市）と、県道明戸八木線小田の沢工区（洋野町）など**新たに6箇所が開通**しました。

令和2年度までに、**復興支援道路**については**整備計画箇所38箇所のうち35箇所**、**復興関連道路**については**整備計画箇所20箇所のうち19箇所**が開通しています。



▲三陸沿岸道路「宮古中央 JCT～田老真崎 IC」  
宮古盛岡横断道路「宮古港 IC～宮古中央 IC」開通  
(令和2年7月12日)



▲復興支援道路「一般国道340号押角峠工区」開通  
(令和2年12月13日)



▲宮古盛岡横断道路「区界～築川」開通  
(令和2年12月5日)



▲復興関連道路「主要地方道重茂半島線」完工式  
(令和3年1月23日)



▲三陸沿岸道路「洋野町種市 IC～階上 IC」開通  
(令和2年12月12日)



▲復興支援道路「一般国道284号石法華工区」開通  
(令和3年1月24日)

## 津波防災施設

～防潮堤等の津波防災施設は9割以上の地区で完成～

防潮堤や水門等については、県、市町村合わせて134地区のうち、**県土整備部では65地区で整備**を進めています。

**今年度は**、久慈市の久慈川など**5箇所が概成**し、**3月末までに約9割の地区の概成を予定**しています。

また、津波発生時に現地で人が操作することなく、水門・陸閘を安全かつ迅速・確実に閉鎖できる「**水門・陸閘自動閉鎖システム**」の整備を進めており、今年度新たに気仙川水門（陸前高田市）など**72箇所**で運用を開始しました。**3月末までに214箇所のうち142箇所（約66%）が運用を予定**しています。



▲片岸海岸(釜石市):令和元年9月整備完了



▲田代川(宮古市):令和3年3月整備完了

## 災害公営住宅

～県内全5,833戸の整備が完了～

災害公営住宅は、県と市町村で計**5,833戸**の整備を進めてきました。

令和2年12月に盛岡市南青山99戸が完成し、**全ての整備が完了**しました。



▲県営南青山アパート(盛岡市):令和2年12月完成



▲県営南青山アパート完成式:令和3年2月11日

## 復興10年にあたって

県としては、現在も実施している事業箇所について、一日も早い完成に向けて取り組むとともに、国の第2期復興・創生期間においても、被災者のこころのケアやコミュニティ形成支援など中長期的に取り組むべきソフト事業を始め、引き続き必要な施策を進めていきます。

# 岩手県自転車活用推進計画を策定しました!!

～自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等を促進～

## 道路環境課

岩手県では自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等の促進を目的として、令和3年3月に岩手県自転車活用推進計画を策定しました。

本計画では、「利用環境」、「健康づくり」、「観光振興」、「安全安心」の4つの取組分野を設定し、本県の実情に応じた目標を掲げるとともに、それぞれの目標を実現するための8つの施策を実施します。

○計画の期間 令和3年度～令和7年度

○計画の対象地域 岩手県全域

### I 利用環境 【目標】自転車の利用拡大のための環境創出

#### 施策1 自転車通行空間等の整備・維持管理の推進

- ①自転車通行空間等の整備
- ②自転車通行空間や自転車道等の適切な維持管理
- ③道路標識や道路標示等の改善

【指標】県管理道路における自転車通行空間の整備延長  
0.0km(R1(2019))⇒16.0km(R7(2025))

#### 施策2 まちづくりと連携した自転車利用環境整備の推進

- ①市町村自転車計画等の策定支援
- ②市町村による路外駐車場の整備等に対する支援
- ③地域のニーズに対応した駐輪場の整備促進
- ④市町村のシェアサイクル導入に対する取組への支援
- ⑤自転車利用を促進するための効果的な情報発信

【指標】市町村自転車計画策定数  
0市町村(R1(2019))⇒6市町村(R7(2025))



自転車通行空間の整備状況(盛岡市)

### II 健康づくり 【目標】自転車利用の促進による健康増進

#### 施策3 サイクルスポーツ振興の推進

- ①自転車関連の大会等の開催の促進
- ②タンDEM自転車の公道走行に関する検討
- ③自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

【指標】自転車関連の大会等への参加者数  
2,776人(R1(2019))⇒4,000人(R7(2025))

#### 施策4 自転車を活用した健康づくりの推進

- ①自転車を活用した運動習慣の定着による体力の維持・向上
- ②自転車通勤の促進
- ③自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

【指標】自転車を利用する運動を実施した県民の割合  
8.2%(R1(2019))⇒12.0%(R7(2025))



自転車関連大会の実施状況  
(きたかみ夏油高原ヒルクライム)

Ⅲ 観光振興 【目標】 サイクルツーリズム等の推進による観光振興

施策5 地域資源を生かしたサイクルツーリズムの推進

- ①官民連携による広域的なサイクリングルートの整備
- ②サイクルツーリズムを楽しむ観光客の誘客促進
- ③自転車通行空間等の整備(再掲)
- ④自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

【指標】 路面表示や案内看板が整備された複数市町村に跨る  
広域的なサイクリングルート数  
0ルート(R1(2019))⇒4ルート(R7(2025))



道の駅くずまき高原の  
サイクルラック設置状況

施策6 地域特性を生かしたサイクリング環境の提供

- ①道の駅等のサイクリング環境の向上
- ②サイクリストと連携した快適なサイクリングルートの確保
- ③サイクルトレインの実施への支援
- ④自転車利用を促進するための効果的な情報発信(再掲)

【指標】 サイクリスト受入環境が整っている道の駅数  
2駅(R1(2019))⇒11駅(R7(2025))

Ⅳ 安全安心 【目標】 自転車を安全に安心して利用できる社会の実現

施策7 自転車の安全利用の促進

- ①安全な自転車利用の促進に向けた交通安全指導
- ②交通安全意識高揚に向けた広報啓発
- ③違法駐車に対する規制等の検討
- ④災害時における自転車活用の検討
- ⑤自転車通行空間等の整備(再掲)

【指標】 自転車に関係する交通事故件数  
248件(R1(2019年))⇒198件以下(R7(2025年))

施策8 学校における交通安全活動の推進

- ①児童生徒の安全な自転車利用促進に向けた交通安全教室の開催
- ②高校生の自転車通学ルートの安全点検
- ③自転車通行空間等の整備(再掲)

【指標】 道路管理者が自転車通学ルートの安全点検を  
実施した高校の割合  
0.0%(R1(2019))⇒100%(R7(2025))



自転車の安全利用推進期間の実施による  
自転車利用者の安全意識の高揚



岩手県自転車活用推進計画は、以下の岩手県ホームページに掲載していますので、御覧ください。

トップページ > 県土づくり > 道路 > 自転車関係施策 > 岩手県自転車活用推進計画

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/douro/bicycle/1039902.html>

【問い合わせ先】

岩手県県土整備部道路環境課 維持グループ

電話：019-629-5878 FAX：019-629-9124 E-mail：AG0004@pref.iwate.jp

